

2025年度 神奈川工科大学 高大連携講座 『陶芸 ～茶器制作～』 【実施要項】

- 目的:** 高校生が本講座の受講をとおして、その分野についての知識を深め、興味・関心を高めることによって将来の進路選択の一助とする。また、連携協定の趣旨に則り、高校・大学双方の教育活動の活性化と理工系人材の育成につなげる。
 - 主催:** 神奈川工科大学 KAIT(カイト)工房 (担当: 工房マネージャー 小林操)
および 入試課 高大連携支援室
 - 対象:** 神奈川工科大学と高大連携協定を締結している高等学校・中等教育学校の**茶道部員**。
顧問の先生も歓迎します。
 - 期日:** 5月以降 **全2回(各回3時間程度)**の講座です。(日にちは高校と相談します。)
 - 場所:** 神奈川工科大学 (〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030)
 - 内容:** 茶道部の生徒や顧問の先生から「部活動で
使用できる茶器を制作したい」との希望がありました。本
講座は、陶芸実習として土から自分だけの茶器を制作し
ます。KAIT工房の専門家が土練り、ろくろ回し、成形、施
釉等を丁寧に指導します。長期休業中や土曜日を利用
して2日間(2回)実施します。

また、再受講(翌年度、翌々年度)も歓迎しますので経験を重ねてさらに良い茶器を制作してください。人数や経験に応じて、電動ろくろ体験も可能です。
次の実習例の場合、1回目と2回目は2週間以上間隔を空けます(乾燥・素焼きの関係です)。日程、実習内容はご相談ください。
- (1) 1回目・・・茶器についての簡単な講義 および成形(茶器の形を作ります)。3時間程度。
1回目の後に工房で乾燥・素焼き(700～800℃)をしますので、2回目までに2週間以上間隔を空けます。
 - (2) 2回目・・・施釉(せゆう): 釉薬による色付け(絵付け、模様付けを含みます)。2時間程度。
2回目の後に工房で本焼き(1200℃以上)を行います。順番待ちの関係で日にちがかかることもあります。
 - (3) 発表会: 12月20日(土)に、本学にて受講成果の発表会を行います。他の連携講座を受講した生徒も発表しますので、都合が良ければ是非参加してください。別途案内します。
(2024年度は、12/21(土)午後9校10チームが発表)
- 受講条件:** 本学で実施しますので、本学で受講できること。(教員の引率は、必須ではありません。)
同時に実習ができる人数は道具等の関係で**8名まで**です。8名を超える場合は、2グループに分けて(例えば午前と午後など)実習を行います。6名以下の場合は電動ろくろ実習も可能です。
 - 応募方法:** ①まず生徒個々に専用の受講申込書に記入して担当の先生に提出してください。
②担当の先生は、校長決裁(公印を押印)の後、学校でまとめて送付してください。
送付先: 入試課 高大連携支援室あて(〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030)
③その後、担当の先生と連絡を取り日程調整をします。
 - 募集期間:** 4月から随時受付
 - 費用:** 粘土代として**500円** (大学までの交通費・昼食代は各自で負担してください。)
 - 活用:** 自分の視野を広げ能力を高めると共に、上級学校で最近割合が増えている総合型選抜や学校推薦型選抜への準備・対策・ヒントにもつながります。
また、各校の規定により、進級・卒業に必要な単位取得のための学修時間に加算できます。

問合せ先

神奈川工科大学 入試課 高大連携支援室
村上 聡、高橋真紀子
メール: satoru.murakami@kait.jp
電話: 046-291-3000